

やつおもて

2024 No. 45 (10月号)

編集発行: 和田まちづくりセンター 協力: 和田まちづくりセンター運営推進委員
電話: 45-1918 E-mail: wada-k@ph-hamada.jp

～和田地区いろいろ見て歩く記～

やきいも～



やきいも～



おながが～
グ～



つめです!



毎月1回、巡回している「移動図書館車・ラブック号」。次回は10月8日(火) 14:50～15:20に和田まちづくりセンターに来ます。読書の秋、食欲の秋…皆さんはどんな秋を過ごしますか? (つめ)

小学生人権標語テスト入選作品

信じよう わたしの周りに いる仲間

〔和田地区の歴史コーナー〕



和田地区の地蔵紹介 ⑥

【堂ヶ原地蔵】

旧広島街道
(重富)

屋号上土居の近く。現住石本信幸さんの曾祖父の代に山中(江津市桜江町)の宝福寺から持ち帰ったという。

和田の歴史といいつたえ
「防六をあおぎて」佐伯充男著参照



肛門ガツパ

第2話

文 佐々岡健次

前回のお話は…

金城町図書館で見つけた、不思議な地名「肛門」。詳しく読むと、こんなカッパの話があった。

農夫が牛を連れて草刈りに向かっていた時、小さな1匹のカッパが突然でてきて驚いた。牛が急に暴れ出し、怒った農夫は首根っこを押さえつけて、鎌で掻き切ろうとした。カッパは手を合わせて「命だけは助けて下さい。その代わりに、私の大切な宝物を差し上げます。」と云って、小さい樽を出した。そして、「もう一つお願いがあります。私の親方にこの手紙を渡して欲しいのです。」…というところでしたね。

気になる…

「宝物？」と手紙を手にして農夫は…怪しい、樽が少々臭い…。それにこの手紙？何が書いてあるだろうか…と開いてビックリ！そこには「親分に申し付けられた人間の肛門100個のうち99個は入手できました。残りは、この男から取って下さい」と書いてあったので、びっくりして家に逃げ帰った…と云う。

危なかった

「あのカッパは、牛どころか、自分の肛門まで取ろうとしていたのだ」と怖さに震えあがったと云う。そんな話が残っている。その場所へ行ってみたい一心で、その肛門取材に出かけた。

何処だろう…

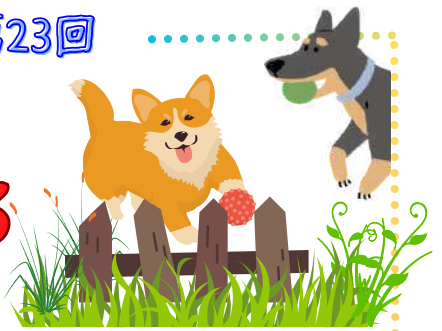
「原チャリ」で美又口からの美又へ下る。どこにも「肛門」と云う標識は無い。2012年9月19日田んぼでは、稲刈りが盛んだった。途中、一人の姉さんに聞く。「肛門」は何処ですか？「まあ！肛門だゆうて！」と恥ずかしそうに笑い転げる。…そうか、姉さんに聞くのはまずかった…この地に嫁に来んさった姉さんじゃ分らんも当然と、兄さんを見つけて聞くと「こんな、そこだヨ」と教えてもらえた。やったァ～！ついに肛門だ！と私は叫んだ。嬉しくて、一心にその場所を目指す。肛門！肛門だァ～！只の話ではない、舞台がある話だ。凄いぞ！私の心は踊った。

やっと見つけた「肛門」ってどんな所？
次回もお楽しみ！



アルパカ牧場での 誕生日会に参加する

文・写真 教子ウィムセット



皆さま、こんにちは。今回は、ナッシュビルでの大切なお友達の誕生日会がアルパカ牧場で開かれたため、息子たちと一緒に参加した時の様子をお伝えします。



さて、アメリカでは年齢が何歳になろうと盛大にパーティーをしてお祝いするのが風習の一つです。生け花を通して知り合ったこの友達は、なんとアルパカ（彼らは非常に温厚で人間に慣れています）、馬、ドンキー、犬を牧場で飼っており、そこに日本人だけではなく、世界各国からの友達を集め、誕生日会をしたのです。



幹事さんが会場の飾り付けをし、30人くらい集まった友人たちは、それぞれ一品ずつ料理を持って来る、持ち寄りパーティーとなりました。私は、ほうれん草のキッシュを作り、他にはスペアリブ、唐揚げ、おにぎり、肉団子、サラダ、手作りクッキー、などなどたくさんのご飯がテーブルに並び、それはそれは豪華でした。また、流しそうめん機やポップコーンの機械を持って来た子もおり、子どもたちには大人気となりました。



アメリカへ来る前は、知らない場所で友達なんて、できるだろうか？と不安はありましたが、サンディエゴに住んでいる間は学生の友達が、そしてナッシュビルでは子どもを通してママ友ができ、今は仕事を通じて多くのアメリカ人や日本人と友達になれ、人とのご縁には大変恵まれているなと思います。息子たちも私の友達から可愛がられていますし、家族で仲良くなれたアメリカの友人たちに心から感謝し、これからも仲間を大切にしたいと感じた1日となりました。



たなばた飾り

前回のまちづくりセンター
たよりで「旭和田郵便局の
隣にある、上和田無人市場
に笹を飾っています」とお
知らせしたところ、たくさ
んの方が書いて下さいまし
た。ありがとうございました。
みなさんの願いが叶いま
すように…。



地域に花を植えよう！

6月1日（土）環境保全・景観美化に対する意
識の向上を目指して、和田地区子ども会の皆
さんと植えたマリーゴールドが、まちづくり
センターの前庭できれいに咲いています。来
館者の皆さんから「とてもきれい」「元気が出
るビタミンカラー」と評判も上々です。

8月25日（日）には、子ども会の皆さんと花壇
の草取りと肥料やりを行いました。



和田駐在所・大西巡査部長

2年ぶりに実施

出来上がった作品は12月に
各戸に配布いたします。
出来上がりを楽しみに
お待ちしております！

和田地区の事業所紹介

この事業は、和田地区の中学3年生に協力
していただき、一緒に事業所紹介を作成
しているもので、今年で8回目になりま
す。昨年は対象者がいなかったため、実
施できませんでした。今年3名の中学
生と一緒にすることができ、大変うれし
く思います。



専門の先生から質問の仕方、写真の撮り
方を学習した後、インタビューや写真撮
影、イラストレーターを使いインタビ
ューの内容を入力するなど、一生懸命取り
組んでいました。

やつおめで

2025

No. 46 (1月号)

編集発行: 和田まちづくりセンター 協力: 和田まちづくりセンター運営推進委員

電話: 45-1918

E-mail: wada-k@ph-hamada.jp

～和田地区いろいろ見て歩く記～

おしくら

まんじゅう～

おされて

なくな～



つめです!



明けましておめでとうございます。みなさんは、どのようなお正月を過ごしておられますか?今年もみなさんの笑顔にたくさん出会えますように!どうぞ、よろしく願いいたします! (つめ)

小学生人権標語テスト入選作品

きみの声 わたしの心に 花がさく

〔和田地区の歴史コーナー〕

和田地区の地蔵紹介 ⑦

【ひび切れ地蔵】

(柏尾谷)



このお地蔵さんは名前のとおり、ひびやあかぎれにご利益があると伝えられています。

お参りするときは、小麦粉を水に溶かして、それをお地蔵さんに塗り付けながら願を掛けます。

和田の歴史といいつたえ
「防六をあおぎて」佐伯充男著参照

ウイムセット家

皆さま、明けましておめでとうございます。
今年もどうぞよろしくお願ひいたします。
さて、昨年は私たち家族にとって忘れられない日本旅行（和田にも帰りました）をしましたので、その様子をお伝えします。



9月27日から2週間、家族4人で念願だった日本帰国をした私たちです。滞在中は、東京で妹と合流し、テーマパークやバスツアーなどを堪能し、大阪、京都を訪れ、その後に広島、宮島、父の待つ和田…へと非常に内容の濃い時間を過ごしました。



和田では、まちづくりセンターへおじゃました際、曾祖父母が営んでいたお店の写真など、私でさえ今まで見たことのなかった古い塚崎商店の様子を見ることができ、息子たちがとても感激していました。



【昭和11年10月 右より2番目の方が塚崎店主】

日本

へ



行

く!

また、久しぶりにお墓参りもでき、ご先祖様たちへアメリカの家族を紹介することができ本当に良かったです。



旅行中には、お寿司、お好み焼き、ラーメンなど美味しい食べ物を楽しみましたし、どこへ行ってもゴミ一つ落ちていなく綺麗でしたし、なんとと言っても出会った日本人の方々が親切で優しくったことを特に夫が感心していました。



文・写真 教子ウィムセット



今では、次はいつ日本へ行くの?としょっちゅう聞いてくる息子たちですが、近い将来、また4人で日本へ、和田へ遊びに行きたいと思います。今回こんなにも素晴らしい思い出作りができたことは、日本の家族や友達、皆さまのおかげだと思います。本当にどうもありがとうございました!



教子ウィムセットの海外便りとは…

教子ウィムセットさんは、和田町塚崎育生さんの次女で、現在テネシー州にお住まいです。海外の行事や暮らしの様子などを文章や写真で紹介していただいています。これからも、日本と異なる文化をどうぞお楽しみ下さい。

肛門ガツパ

第3話

文・絵 佐々岡健次



前回のお話は…

金城図書館で見つけた、不思議な地名「肛門」。詳しく読むと、親分のために人間の肛門を100個を集めるカッパの話があった。

「その場所に行ってみよう」一心で美又に向かう。やっと教えてもらったその場所を、心躍らせ目指す…というところでしたね。では、続きをどーぞ！

見つけた！

美又口から美又への道を下ると、やがて加古屋川を左に見て田代城トンネルに入るが川は左にカーブして少々の深みを作って淵となっている。そこを肛門淵といっているが、別に肛門だからと云って臭い訳ではない…。

現在は

今、看板も作られ「ウォーキングコース」になっている。その淵に山からの清水が流れ落ちている。もしかしたら、ここに水車小屋でもあったんじゃないかと思わせる所だった。(実際、私の妖怪絵には水車小屋も描いている。)

そのうち…

後日、その近くの兄さん姉さんに聞くとよくあの肛門で泳いだと云う。今の世の中に「肛門」と云う所があること自体面白く、この話が永遠に語り継がれる事を祈るばかりです。そのうち「あの肛門で、皆で泳ごう」というイベントを作りたい。

次回は

この次は、このカッパの親分の話になります。お楽しみに！

佐々岡健次さん



和田地区本郷在住。

地域の伝承や伝説を詳細に調べ、得意の絵や文章で紹介して下さっています。まちづくりセンター便りキャラクター「つぬちゃん」の作者でもあります。

